

令和8年度 彦根市立病院医療従事者負担軽減実施計画

【策定目的】
良質な医療・看護を継続的に提供するという基本的考え方の下、働き方改革に取り組み、医療従事者の負担軽減を図り、効率的な業務運営を推進するため、標記計画を策定する。

No.	取組事項	内容	達成状況	
			令和7年度 (実績)	令和8年度 (目標)
1	病診連携の推進	地域の医療機関との連携窓口として地域医療連携室を設置し、紹介患者の予約や紹介状に対する返書管理、紹介先医療機関の予約調整などを行っている。 他医療機関への転院の相談についても看護師・医療ソーシャルワーカーが相談を行うなど、医療機関の機能に応じた役割分担を図る。 かかりつけ医シートを設置し、かかりつけ医の選定を地域医療連携室・患者サポート相談窓口にて行う等、医師が患者を診療所に逆紹介しやすい環境作りに取り組んでいる。一方、専門外来をはじめ、かかりつけ医からの紹介患者の受入に注力していく。	紹介率 89.8% 10,501件	紹介率 90% 10,500件
2	外来縮小の取組	湖東保健医療圏の中核病院として総合的かつ専門的な医療を提供できるよう、病状が安定した患者さんには、地域の病院や診療所を逆紹介し、かかりつけ医を持ってもらうよう奨め、外来縮小に努める。	逆紹介率 114.4% 13,374件	逆紹介率 100% 13,500件
3	当直勤務の軽減	勤務医の当直勤務が月3回を超えないように、必要に応じて非常勤嘱託医を雇用するとともに、連続当直を行わない勤務体制を実施する。 また、当直の翌日は往診（外来）を可能な限り控えるとともに、予定手術が入っている前日は当直を可能な限り行わないよう配慮する。	宿直勤務 2.46回	宿直勤務 3回以下
4	子育てと就労の両立支援	医療従事者の子育てと就労の両立を支援するため、院内保育所において、引き続き24時間保育（火・木）・365日開園を実施するとともに、保護者ニーズを的確に把握したうえで、さらなる保育内容の充実に向けた検討を重ねていく。 また、地方公務員の育児休業等に関する法律等の規定による育児短時間勤務や部分休業を活用し、子育てと就労の両立を支援する。	院内保育所の実施 24時間保育 (火・木) 365日開園	院内保育所の実施 24時間保育 (火・木) 365日開園
5	適切な役割分担	医師、看護師、医療技術職、事務職等との間で、関係法令等で認められている範囲内で適切な役割分担を行う。	時間外勤務時間数(全体) 13.17時間	時間外勤務時間数(全体) 13時間未満
	(1) 医師と医療技術職	(薬剤師) ① 抗がん剤等を用いる療法については、薬剤師がレジメン管理を行うとともに、医師とのカンファレンスを通じて情報提供を行うなどして、引き続き療法指導における医師の負担軽減を図る。 ② 病棟において、薬剤師の服薬指導を通じて把握した患者情報と、副作用情報を提供することで医師の負担を軽減する。将来的には、ICU病棟および手術センターへ薬剤師を配置できるよう、業務の効率化を図るとともに、スタッフの充実も引き続き検討していく。 ③ PBPM（プロトコルに基づく薬物治療管理）の継続・拡充により、タスク・シフト/シェアを推進し、医師の業務負担を軽減する。 (医療技術局) 現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアについて検討を行う。 ①IVRにおける検査介助等		
	(2) 医師と看護師	①特定行為研修修了した看護師配置 5名(令和7年3月現在、1名追加予定) ②医師の包括的指示に基づく看護実践 ・薬剤投与 ・静脈採血の実施 ・静脈路の確保(薬剤接続含む) ・心電図検査の実施 ③大腿骨近位部骨折を含む、3症例のプロトコル整備 ④外来・救急外来における診察前の情報収集 ⑤入院の説明の実施(入院時オリエンテーション) ⑥検査手順の説明	時間外勤務時間数(医師) 41.75時間 ドクターズアシスタント 15.75名	時間外勤務時間数(医師) 42時間未満 ドクターズアシスタント 17名
(3) 医師と事務職	(ドクターズアシスタントを配置する業務) ①診断書等作成補助業務 診断書の作成および交付に関する医師の負担を軽減する。 ②診療記録代行入力作業 医師のカルテ作成に係る負担を軽減する。 ③ドクターズアシスタントの充実 令和8年度は、スキル向上と職場定着を引き続き図る目的で17人体制とし、25対1の加算を維持し、充実を図る。 (受付事務) 「入院のご案内」の冊子による入院手続の説明の実施 (生成AIの導入) 生成AIにより医師の退院サマリーや返書作成に係る負担を軽減する。			

5	(4) 看護師と他職種	<p>①臨床工学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸液ポンプ等の医療機器の中央管理 ・病棟における人工呼吸器関連業務 ・手術センターにおける手術関連業務 ・血液浄化療法関連業務 ・内視鏡センター関連業務 <p>②リハビリテーション科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドサイドでの機能訓練 ・リハビリ施行中の喀痰吸引 ・認知症ケアの協働 ・患者送迎 他 <p>③薬剤部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟薬剤師による持参薬管理 ・入院患者の定期処方管理 ・入退院支援室での持参薬確認、指導についての検討 ・薬剤助手による内服カートへの薬剤セット 他 <p>④栄養治療科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟担当管理栄養士による患者の栄養状態把握、食事内容変更の検討 ・夕食の下膳車の回収 ・嚥下食対象患者へのお茶のゼリー化、とろみ付け 他 <p>⑤臨床検査科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来採血室における静脈採血の実施 ・検体容器の準備と病棟供給 ・入院患者に使用する輸血製剤の病棟搬送 ・病棟常駐による業務支援の検討 他 <p>⑥放射線科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MRI造影時の血管確保と造影剤注入 ・患者搬送 ・CT造影検査 他 <p>⑦地域連携センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院7日以内のカンファレンス実施 ・退院支援に向けたカンファレンス、病病連携、病診連携等 ・地域連携パスによるスムーズな転院支援の継続 他 <p>⑧救急救命士</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防救急隊からの連絡応需 ・連携搬送時の同乗 ・救急センター看護業務の補助 <p>⑨病棟クラーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部署間の応援体制の整備 ・入院・退院手続き、転科・転棟準備 ・診断書・証明書など必要書類の管理 ・電話対応、面会人対応、印刷物、事務用品など物品管理 他 <p>⑩看護補助者による看護業務の補助と協力体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部署間の応援体制の整備 ・勤務体制や業務時間の調整と見直し ・夜間看護補助の配置 ・エイドアシスタント（間接業務を主とする）の配置 ・環境整備等補助の配置 ・ケア方法の統一と情報共有ツールの作成 他 <p>⑪受付事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入院のご案内」の冊子による入院手続の説明の実施 	<p>時間外勤務時間数(看護師) 7.92時間</p> <p>夜間看護補助者(ナイトアシスタント) 12.83人</p> <p>環境整備等補助者(エイドアシスタント) 5.67人</p>	<p>時間外勤務時間数(看護師) 8時間未満</p> <p>夜間看護補助者(ナイトアシスタント) 13人</p> <p>環境整備等補助者(エイドアシスタント) 8人</p>
---	-------------	---	---	--